

フォルテの SystemC 動作合成ツール Cynthesizer が富士通マイクロエレクトロニクスの

ASIC リファレンス フローに採用

カリフォルニア州サンノゼ 2008年6月4日 フォルテ・デザイン・システムズ(Forte Design Systems)は、同社の動作合成ツール Cynthesizer が富士通マイクロエレクトロニクス株式会社の ASIC リファレンス フローに採用されたことを発表しました。Cynthesizer は広範囲に及ぶテストを経てその高い品質を証明し、採用が決定されました。

Cynthesizer は現在、世界各地の富士通マイクロエレクトロニクスの拠点において、複数の設計チームにより使用されています。また、富士通マイクロエレクトロニクスの ASIC ビジネスは、Cynthesizer を利用して IP 開発に取り組んでいる、先端技術を有する日本の多くのシステム ベンダーをサポートしてきました。

富士通マイクロエレクトロニクス株式会社 設計技術統括部第三設計部長の長谷川隆氏は、「私共は、Cynthesizer で生成される RTL コードが、弊社の厳しい RTL サインオフ条件を満たしていることを確認しました。私共は多くの電子システム レベル (ESL) 合成ツールを評価し、フォルテの Cynthesizer で生成される RTL が弊社のデザイン フローに組み込めることを確認しました。これにより、弊社の社内、社外を問わず、弊社のお客様は、SystemC を用いた標準 ESL ASIC フローを手に入れることになります。」と語りました。

フォルテ・デザイン・システムズの CEO Sean Dart は、「富士通マイクロエレクトロニクスは、お客様の高位レベル設計への移行を強力にサポートしていくことによって、引続き ASIC マーケットでリーダーとしての役割を担っていくでしょう。富士通マイクロエレクトロニクスのお客様は、ASIC フローに Cynthesizer と SystemC を組み込むことで、市場投入までの時間と設計品質の両方を向上させることが可能になります。」と語りました。

フォルテ Cynthesizer について

フォルテの先進的な SystemC 動作合成技術により、実設計で通用する品質の RTL を 1/10 の時間で実現し、下流工程でのタイミング・クロージャの問題を低減することができます。Cynthesizer は高位レベルの SystemC 記述を使用することで、設計者によるカスタム インターフェイスの使用や、高度なアーキテクチャ要求を満たす設計を可能にします。Cynthesizer を使用すると、コード変更を行うことなく、自動的に新しい動作周波数とプロセス テクノロジーにリターゲットすることができ、RTL では不可能であるとされてきた高レベルの再利用が実現されます。Cynthesizer は、待ち望まれていた、実用的かつシリコン化の実績がある高位レベル ソリューションです。

フォルテ・デザイン・システムズについて

フォルテ・デザイン・システムズは抽象度の高い設計を可能にするソフトウェア製品を提供する先端企業です。フォルテの革新的な高位レベル合成技術により、設計チームは ASIC、FPGA、SoC を使ってアルゴリズム デザインから複雑な電子システムを開発し、設計および検証に要する時間を大幅に削減することができます。フォルテ本社住所は、100 Century Center Court, Suite 100, San Jose, CA 95112。詳しくはフォルテのホームページ www.ForteDS.com をご参照ください。

* 記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

----- 本件に関する報道機関からのお問い合わせ先 -----

フォルテ・デザイン・システムズ株式会社 山田

電話 045 - 478 - 2268

E-mail: yamada@forteds.com